

## 社 報



## 劣等感を味方に……

## 第8期決算見込み

当社の決算は4月末日です。株式会社フォービルを設立して以来、7期連続で黒字決算を続けてきましたが、残念ながら、本年4月期は赤字決算の見込みとなりました。

一年間の営業結果で損失を計上することは、あってはいけないことですが、リーマンショックの後の急激な経済の落ち込みに対抗できませんでした。

来年4月期も、今以上の厳しい状況が続くと思われませんが、チャレンジ精神で乗り越えたいと思います。



本年4月期の決算は赤字決算の見込みであることはお知らせをしました。

赤字決算自体が良くないことは明らかですが、赤字になって、これはどうしたことかと、会社を点検し反省することは大切だと思います。

赤字になると言う事は、会社が持っているお金を失うということであり、言い換えると、会社が貧しくなるということです。会社が貧しくなることは、そこに所属する関係者にも影響し、皆が貧しくなるということです。

貧しくなれば、そこには劣等感という意識が生まれてきます。この劣等感、自分は人より劣っていると感じる気持ち、この気持ちは、人の生き方を大きく動かす力を持っています。

貧しい家に生まれ、劣等感を背負いながら、勉強・努力して成功を納めた人は多くいます。偉人と呼ばれる人の中には、そういう環境から育った人が少

なくありません。

劣等感も味方にして、「なにくそ」の思いで頑張れるか、劣等感に支配されて無気力的に生きるのでは、人生に大きな差が生まれます。

逆に、人より恵まれた環境にあったり、人を使う立場に優越感を感じて、ダメになっていく人も多くいます。

劣等感を味方に、優越感を敵に、日々いろんな状況の中でも、自分自身が成長できる選択をすること、これは非常に大切なことだと思います。

そうすれば、持たざる者にも与えられるモノが生まれてきます。お金ではありませんが、友人であったり、お得意先であったり、仕入業者さんであったり、有形・無形で現れてくると思うのです。

建設業界はこれからも厳しい時代が続くと思います。

その中で、つらい思いをすることが多いかもしれませんが、つらさをバネに、逆境にめげずに乗り越えて行きましょう。

当社ホームページは <http://www.forbuild.co.jp> ご覧になれます。

## 本格的な夏がやってきます

熱中症への注意が言われるようになってから、ずいぶんになりますが、それでも熱中症は発生します。

日本の高温・多湿な気候の中で、肉体的な負担の大きい仕事を、炎天下で行う躯体工事は、まさに命がけであるとも言えます。

体の負担を考えれば、夏期間の建設工事は相当の配慮をする必

要があると思います。

しかしながら、労働時間を短縮すると、仕事の生産力が落ち、収入の減少となってしまいます。

生活の為に、働かざるをえませんが、仕事で健康を損なうことのないように、各自が体調を整えることが大切です。

熱中症を防止しましょう。

## 2011年 安全成績

## ■現場災害 H23.1.1-H23.6.28

休業災害	-----	2
不休災害	-----	0
物損災害	-----	0
その他	-----	0
合計	-----	2

## ■交通災害 H23.1.1-H23.6.28

人身災害	-----	0
物損災害	-----	0
合計	-----	0